

セオリーと事例・ケーススタディーで学ぶ分析実践力

ものづくり・問題解決のための機器分析の考え方と進め方

日時	案内メール、HP をご確認ください	会場：WEB 配信方式
受講料	税抜き 49800 円（税込み 54780 円）テキスト付 & 主催講座特典	
講師	ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹	
受講対象	得られる知識、スキル	
・研究開発、モノづくりに携わる方 ・分析部門、品質保証部門の方 ・製品トラブル解決に関わる方	・何からどのように分析を進めていけばよいか ・現象、状況に合わせた分析設計の方法 ・事例、ケーススタディーによる実践力	
概要	<p>研究開発はもちろん、品質保証に関わる製品試験、不具合トラブル解決などありとあらゆるモノづくりの場面で機器分析は必要不可欠です。分析は実験と切っても切り離せないセットのものであり、モノづくりにおいて必要不可欠なものです。しかし、現実には個々の分析手法の理解が不足していることはもちろん、それに加えて、分析の進め方、すなわち、分析設計ができていないことがほとんどです。</p> <p>本講では、分析手法の解説はもちろん、モノづくりや問題解決のための手法選択から分析の進め方といった分析設計について、基本となるセオリーから豊富な事例やケーススタディーを用いて、詳細に解説します。</p>	
<ul style="list-style-type: none">● 【イントロダクション】 分析というものについて誤解を解き、改めて正しく理解するためにイントロダクションとして整理します。● 【分析活用の場面】 分析用いられる様々な場面について分類しつつ、それぞれについて分析をどのように考えるために必要となる特徴、要件などについて解説します。● 【分析設計】 様々な場面、状況をケーススタディーとして紹介しながら、実際にどのように分析を設計するかについて解説します。● 【接着・剥離を例とした事例】 現代社会における基盤技術の一つである接着について、主に接着不良、トラブルの解析を例としてどのように分析設計を行うかについて解説します。● 【手法選択】 様々なケース、対象物、減少などについて、どのような観点、考え方で手法選択を行うかについて解説します。● 【代表的分析手法】 研究開発、トラブル解析、問題解決などで用いられることが多い代表的な分析手法について解説します。● 【ケーススタディー】 ここまでで解説した分析設計の考え方、分析手法の特徴を踏まえつつ、現実にかかる典型例について分析の進め方について解説します。● 【事例&演習】 実例を用いたケーススタディーとして実際の分析結果を示しながら、一部演習形式で分析を実際に考えることで学ぶを深めます。● 【まとめ】と質疑		
詳細は、HP をご覧ください		
お申し込み	https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html または HP お問い合わせより	

URL : <http://analysis.ikaduchi.com>

e-mail : haru777@star.email.ne.jp